

市民オケ・フェスタ in Kasugai

オーケストラってなに？



伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団

春日井市交響楽団

ファビオ・ジェミティ サンドロ・ジェミティ

2001年11月4日(日)午後5時開演

主催：(財)かすがい市民文化財団・春日井市 後援：中日新聞社

ごあいさつ

本日は、「市民オケ・フェスタ in Kasugai : オーケストラってなに?」によるこそお越しくございました。

財団法人かすがい市民文化財団と春日井市は、多種多様なジャンルのコンサートを始め、「春日井市民第九演奏会」に代表される市民参加型の演奏会、市庁舎で行われる「お昼のコンサート」や文化フォーラム春日井での「アトリウム・コンサート」といった気軽に参加していただけるサロン風の音楽会、さらには映像を利用した音楽講座等も開催し、市民の皆さまに幅広く楽しんでいただいております。

さて、本日の「市民オケ・フェスタ in Kasugai」は、サブタイトルを「オーケストラってなに?」と称し、オーケストラ鑑賞が初めての方にも楽しんでいただける内容となっております。

今回は、近年各都市で活動が盛んになって参りました市民オーケストラの一つ、伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団をお招きし、春日井市交響楽団と共演するステージが実現します。ふだんは他地域で活躍されているオーケストラの演奏を聴く機会はなかなかありませんが、このチャンスに2つのオーケストラを聴き比べることができます。

さらに、イタリアからジェミティ兄弟をお招きしました。国際的に活躍している彼らの息の合った連弾は、きっと皆さまの心に響くことと思います。

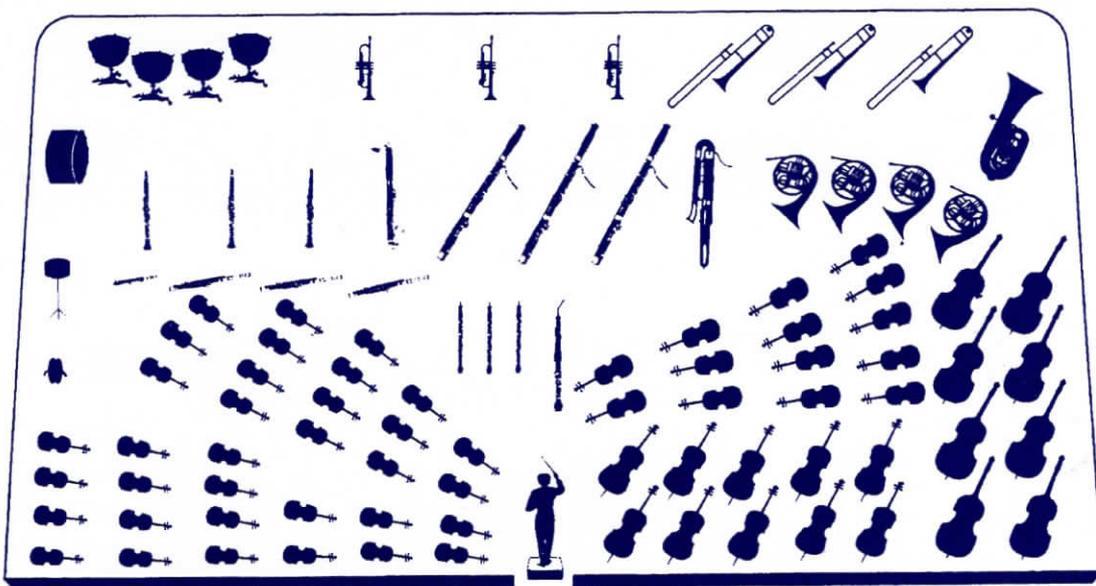
そして、司会と解説を、ここ春日井でも数々の講座を開催され、好評を博している都築正道氏をお願いいたしました。魅力ある話術とわかりやすい説明は、本日のコンサートを一層楽しいものとしてくださることでしょう。

それでは、音の織りなす魅惑的なステージをどうぞご鑑賞ください。

2001年11月4日

財団法人かすがい市民文化財団
春日井市

オーケストラってなに?



オーケストラって、これ!!



プログラム

1

ロシア民謡によるオーケストラってなに？

倉橋日出夫編曲

2

2台のピアノのための協奏曲

ピアノ協奏曲第10番変ホ長調 K.365 [ca.1780年]

W.A.モーツァルト(1756-1791)作曲

第1楽章 快速に・変ホ長調・4/4拍子
第2楽章 ゆっくりと・変ロ長調・3/4拍子
第3楽章 ロンド 快速に・変ホ長調・2/4拍子

きゅうけい

3

ボレロ [1928年]

モーリス・ラヴェル(1875-1937)作曲

演奏 伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団
春日井市交響楽団
指揮 加藤完二
ピアノ ファビオ・ジェミティ
サンドロ・ジェミティ
お話し 都築正道

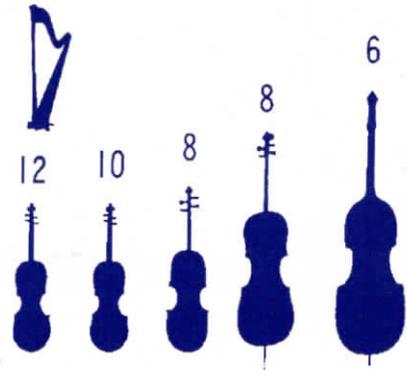


曲目解説

ロシア民謡による オーケストラってなに？

倉橋日出夫 編曲

さあ、それでは、お待ちかねのフル・オーケストラの演奏を聴きましょう。まず、音合わせからはじまります。そして、指揮者の加藤完二さんが登場してきます。そして、みなさま良くごぞんじの「ロシア民謡」を、オーケストラの色々な楽器が、次から次へと演奏していきます。「ポルシュカポーレ」や「行商人」や「カチューシャ」や「赤いサラファン」や「黒いひとみ」や「カリンカ」や「ステンカ・ラージン」や「トロイカ」も出てきます。



弦楽器



木管楽器

オーケストラの楽器は、大きく分けて、四つのグループに分かれます。弦楽器と木管楽器と金管楽器と打楽器です。弦楽器は、第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンとヴィオラとチェロとコントラバスの五種類です。第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンは、同じ楽器で、ただ、二つに分かれて奏くのです。木管楽器は、ピッコロとフルートとオーボエとクラリネットとファゴット(バスーン)の五つです。金管楽器は、ホルンとトランペットとトロンボーンとチューバの四つです。本日の「ボレロ」には、フランスで作られたサクソも登場します。

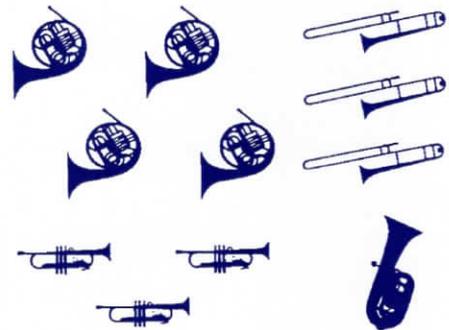
それぞれの楽器は、音の高さや音色や音の強さや切れた音や流れる音など、個性ある音を出します。その色々な音が、いっしょになって、とても美しいハーモニーが生まれるのです。

さあ、目と耳と心で、音楽をまるごと楽しみましょう。

2台のピアノのための協奏曲

W.A.モーツァルト(1756-1791) 作曲

こんどは、オーケストラにピアノが加わった「協奏曲」を聴きましょう。普通はピアノは1台ですが、本日は特別に、大きなピアノ2台用意して、モーツァルトの「2台のピアノのための協奏曲」をお聞きいただきます。イタリアからお招きした、世界的な連弾の名手ジェミティ兄弟が弾きます。ピアノの連弾は、とても楽しいものです。ヨーロッパのどの家庭でも、ピアノさえあれば、友だちどうしで、親子で、兄弟で、先生と、だれとでも、直ぐに連弾を始めます。そして、直ぐに仲良くなることのできるのです。た



金管楽器



打楽器と鍵盤楽器

くさんの作曲家が、家庭の連弾のために美しい楽しい曲をたくさん書きました。モーツァルトも、ハイドンも、ベートーヴェンも、シューベルトも、ブラームスも、ドヴォルザークも、みんな連弾の名曲を残しています。本日は、ジェミティ兄弟は、モーツァルトの作品を選びました。30分ほどの長い曲ですが、2台のピアノの豪華で、たくましい音が、オーケストラといっしょになって、とてもきれいで、明るくて、力強く、楽しい音楽をかなえます。オーケストラは、このほかに、ヴァイオリンといっしょに、「ヴァイオリン協奏曲」を演奏したり、オーボエやギターや尺八などの楽器とも、協奏曲を演奏します。オーケストラって、本当に、だれとでも仲良しなんですね。

ボレロ

モーリス・ラヴェル(1875-1937) 作曲

それでは、最後に、またフル・オーケストラによる大きな音の演奏を聴きましょう最初は小さく、遠くから聞こえてきます。楽しいメロディが、なんかいも、なんかいも繰り返されます。そして、だんだん楽器の数が増えていき、音もだんだん大きくなっていきます。繰り返されるたびに、新しい楽器が現れて、さも自慢げに、得意の演奏を聴かせるのです。フランスの現代作曲家ラヴェルの、これが有名な「ボレロ」です。3拍子の速いスペインの民族舞踊の「セグィディーリア」(Seguidilla)が基本になっています。スペインの踊りのカスタネットのかわりに小太鼓を使い、ギターを真似た伴奏を背景に、次々に管楽器のソリストたちが踊り手となって登場します。そして、それぞれ18小節からなる[A]と[B]の二つのボレロ主題を歌いつぎながら名人芸を聴かせます。

二つの主題を演奏する楽器群の登場順を記しておきますので、目と耳で《ボレロ》を楽しみましょう。その他の楽器も、順に加わってリズムを刻みます。こちらにも、ご注目を…。

Tempo di bolero moderato assai

主 題 A 

主 題 B 

- 0 小太鼓が刻むリズム主題が遠くから聴こえてきます。
- 1 [A] (pp) フルート
- 2 [A] (p) クラリネット
- 3 [B] (mp) ファゴット
- 4 [B] (p) 小クラリネット
- 5 [A] (mp) オーボエ・ダムール
- 6 [A] (pp) フルート+弱音器付きトランペット
- 7 [B] (mp・感情を込めて・ヴィブラートで)テナー・サクソ
- 8 [B] (mp・感情を込めて・ヴィブラートで)ソプラノ・サクソ
- 9 [A] (pp) 2ピッコロ+ホルン+チェレスタ
- 10 [A] (mf) オーボエ+オーボエ・ダムール(愛のオーボエ)+ホルン+2クラリネット
- 11 [B] (mf・音を保ちながら)トロンボーン
- 12 ここからフル・オーケストラの伴奏になります。
[B] (f) ピッコロ+2フルート+2オーボエ+コーラングレ+2クラリネット+テナー・サクソ
- 13 [A] (f) ピッコロ+2フルート+2オーボエ+2クラリネット+第1ヴァイオリン2部
- 14 [A] (f) ピッコロ+2フルート+2オーボエ+コーラングレ+3クラリネット+テナー・サクソ+第1ヴァイオリン4部+第2ヴァイオリン4部
- 15 [B] (f) ピッコロ+フルート+オーボエ+コーラングレ+トランペット+第1ヴァイオリン2部+第2ヴァイオリン2部
- 16 [B] (f) ピッコロ+2フルート+2オーボエ+コーラングレ+2クラリネット+トランペット+ソプラノ・サクソ+第1ヴァイオリン2部+第2ヴァイオリン2部+ヴィオラ+チェロ
- 17 全合奏で一斉にリズム主題を激しく刻みながらボレロ主題[A]を迎えます。
[A] (ff) ピッコロ+2フルート+4トランペット+2サクソ+第1ヴァイオリン4部
- 18 [B] (ff・出来るだけ大きく) ピッコロ+2フルート+3トランペット+トロンボーン+2サクソ+第1ヴァイオリン4部

最後の14小節で、突然、全楽器がパッとホ長調に転調します。そして、最後の6小節になると再びパッとハ長調に戻ります。その時を期して、大太鼓とシンバルと銅鑼がこれに加わり、大音響のカタストロフとなって、全世界が崩れ落ちるように曲が終わります。

(都築正道)